

病院概要	新南棟 (S)		北棟 (N)	
病床数 433 床	7S	消化器内科、内科 (血液・膠原病・リウマチ、一般)、眼科	食堂・売店	
延べ床面積	6S	整形外科、内科 (糖尿病・内分泌代謝、一般)	6N	呼吸器内科、循環器内科、内科 (一般)
新 S 棟 12,306.32 m ²	5S	小児科、内科 (腎臓・透析、一般)、耳鼻咽喉科	5N	脳神経外科、泌尿器科、形成外科、皮膚科、麻酔科、歯科口腔外科
(1 期工事分 7,801.57 m ²)	4S	亜急性期病棟 (全科)	4N	外科 (消化器、乳腺・内分泌、一般)、呼吸器外科
N 棟 11,538.29 m ²	ICU	全科	3N	救急病床 (全科)、外科 (消化器、一般)、心臓血管外科

屋上庭園



多床室



病棟廊下



3 階 手術ホール



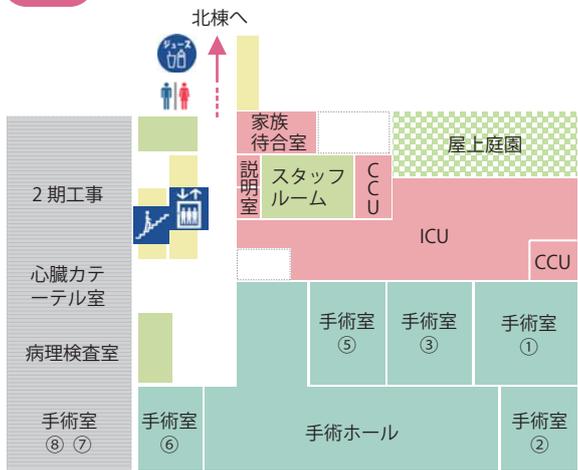
4 階 リハビリテラス



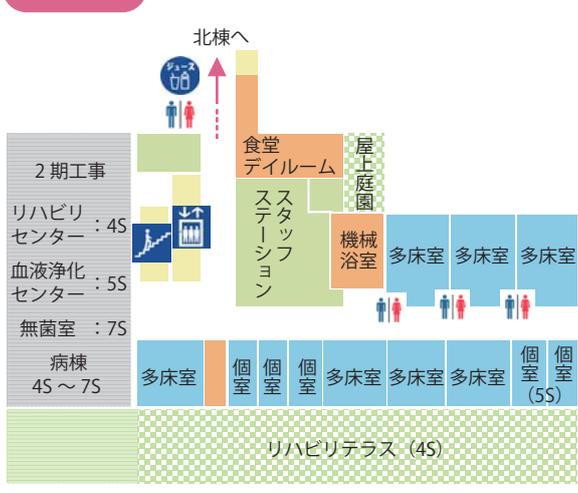
病棟 EV ホール、スタッフステーション



3 階



4～7 階



市民に開かれた新しい病院

清水建設株式会社 医療福祉施設設計部
グループ長 大石 茂



この度は松山市民病院新南棟1期工事竣工、おめでとうございます。

清水建設は河合先生の基本設計を受け、実施設計から工事まで担当させていただいております。高い機能を持つ新しい松山市民病院は、松山市の中核病院としての役割にふさわしい安全性、そして市民の皆様が開かれたやさしい環境を提供する病院として完成しました。

市民の憩いの場となる吹抜のエントランスホールからは、明るい中庭を眺めることができます。病室は付き添いのご家族が来られても十分な広さがあり、間接照明のやさしいインテリアです。病室には深い庇を設け、夏の日射しが入らない省エネルギーな病院としました。

病棟・外来とも自然通風できる窓を設けて、省エネルギーと快適性を両立して

います。病棟は万一の際にベッドのまま避難できるよう、防火区画し高い安全性を確保しました。また、免震建物とし震災時の診療・入院機能を維持し、且つインフラが途絶しても機能維持できる備えとしました。

引き続き2期工事でも市民の皆様への期待に応える病院ができますよう、努力してまいります。